

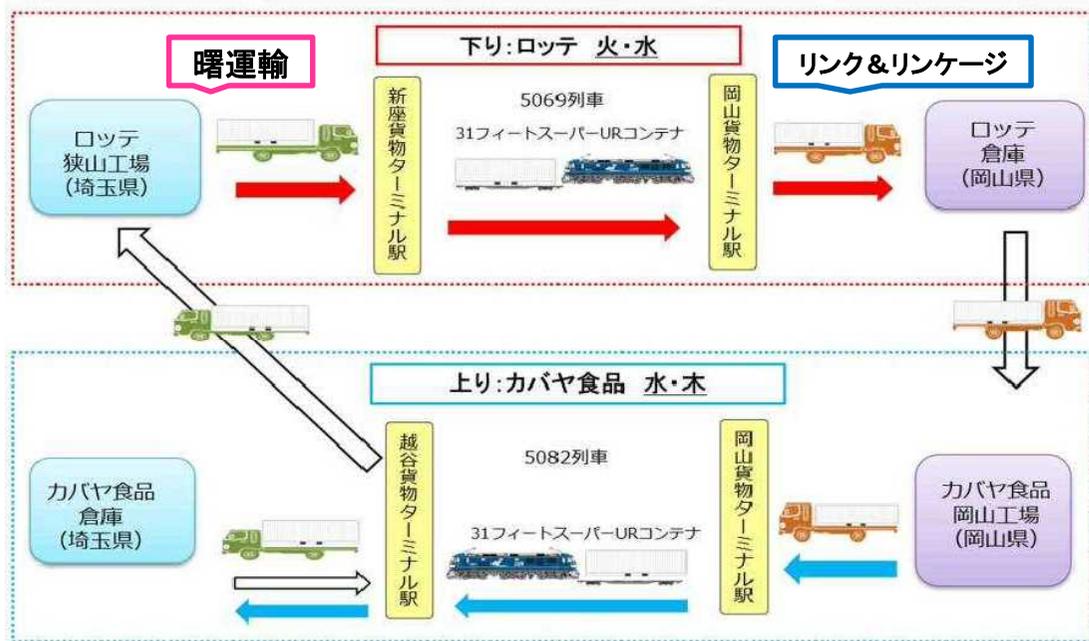
概要

カバヤ食品、リンク&リンケージ、ロッテ、曙運輸、全国通運、JR貨物、日本石油輸送が、持続可能な地球環境負荷の低減や持続可能なビジネスの構築が実現できる、31フィートスーパーURコンテナを活用したモーダルシフトとして、ロッテ狭山工場(埼玉県)から岡山県にある倉庫までの貨物鉄道輸送の検討をはじめ、空回送となる復路の有効活用策として、リンク&リンケージが物流元請を担う、カバヤ食品工場(岡山県)から埼玉県にある倉庫向けへの輸送のマッチングを行い、2023年7月よりラウンドマッチング輸送を開始。

施策の効果

- 所要時間の短縮
- トラックドライバーの労働時間の削減
- 輸送にかかるCO2排出量、総コストを削減

物流の効率化
労働力不足問題の解消
地球環境保全
省エネルギー
に資する



スーパーURコンテナ: 日本石油輸送が所有する真空断熱パネルを採用したコンテナ。冷蔵コンテナよりも高い断熱性能を備えているため、温度維持が必要な品物を運ぶ場合に適する。

ラウンドマッチング輸送: 貨物を目的地に下ろした後、空で回送することなく適合する貨物を見つけ、出発地まで戻ることにより、往路と復路の車両の積載率を高め、ドレージコストの低減を可能とする輸送方式。